

# 第1回 ライトノベル作法研究所主催 大夏祭り大会 選評評価シート

作品名：「後日談物語」

テーマ：「ビッチなのに、ピュアな美少女」

キャラクター

50

ストーリー

40

テーマ(設定)

40

文章力

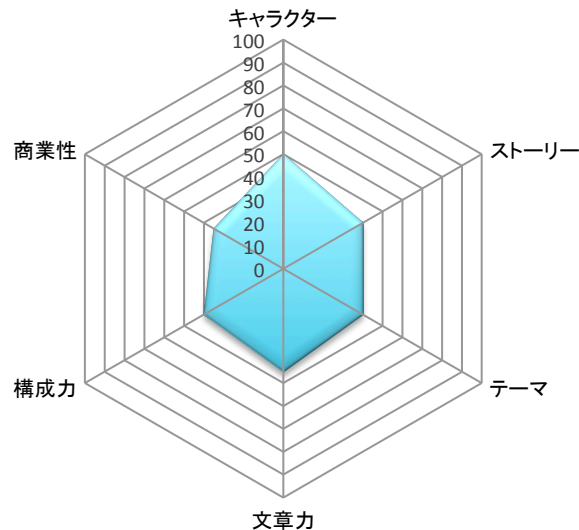
45

構成力

40

商業性

35



## ・見受けられる基礎的な問題点

- ・キャラクターに個性がない(もしくはその個性を生かしきれていない)
- ・キャラクターの設定にオリジナリティがなく、読んでいて新鮮さに欠ける
- ・キャラクターの行動に動機がなく、物語がご都合展開になってしまっている
- ・物語の方向性が定まっておらず、読む側にだるさを感じさせてしまっている
- ・物語に登場人物達にとっての障害が登場せず、盛り上がり欠ける
- ・テーマ(世界観)が既存の作品の焼き回しで差別化されていない
- ・物語上必要のない設定を多く登場させ過ぎている
- ・意味の無い暗いテーマ(人の死、暴力等)が扱われており、後味が悪い
- ・プロットの練り方が甘い(基本的な起承転結が意識されていない)
- ・時系列の流れが不自然、もしくは視点移動が多過ぎて構成が理解しにくい
- ・物語の情景描写が足りず、読んでいて状況を想像できない
- ・文章が難解かもしくは文法的に問題があり、よく読まないと内容が理解できない
- ・伏線的な要素がなさすぎて驚きに欠ける
- ・笑いをとれる下ネタが少なく、読んでいて冷める下ネタが多い
- ・「この作品の最大の魅力はこれ!」というものがない

## ・総評 (もしくは、今後これをやったら更に面白い作品を書けるようになるかもという話)

「ビッチなのにピュア」設定なので、「ビッチじゃねーよ!」は言い過ぎなのではと感じた。ヒロインとしての魅力を引き立てるためには「ビッチって呼ばないで!」「私ビッチじゃない!」等、言っていて不機嫌な可愛さを演出する方がメリットが多かったのではないかな。もしくは一周回ってピュア要素を破壊して、「ビッチじゃねーよ!」連呼からの「そっかよビッチだよ!」悪かったな、あぁん?」的な開き直りによる笑いを誘ってしまおうか。・冒頭の「魔王と勇者の戦いに決着がついた、そのあとの物語。」というプロローグは「魔王が勇者に敗北を喫した、そのあとの物語。魔王は勇者に助けられ〜」的な具体 的な展開まで言及していた方がよかったのではないかな。過去の事情が分かり易く、かつ「なぜ魔王は勇者に助けられたのか?」という謎そのものが一つの読み手を引き 寄せられるポイントとなったので、これだけでかなりのメリットがある。・魔王勇者ものというファンタジーな世界観は、ヒロインビッチというだけでは多少オリジナリティーには欠けるものの安定した王道の面白さがあった。折角なのでもう 少しそれを後日談の中に生かすことができればなお面白くなったのではないかなと感じる。例えば勇者時代に買った薬草系アイテムが後日談のストーリーに大きく関わって来たりなど。・正直読んでいて、短編では書ききれなかった設定が多くあったように感じたので、是非この話は長編で書き上げて欲しい。テーマや構成といった点数は「短編では出し 切れなかった」ことが理由で点数が低い、長編ではこの設定の多さが逆に生きてくると思われる。

合計加点ポイント 0

総得点: 250 / 600

B方式総合得点: 10417 点